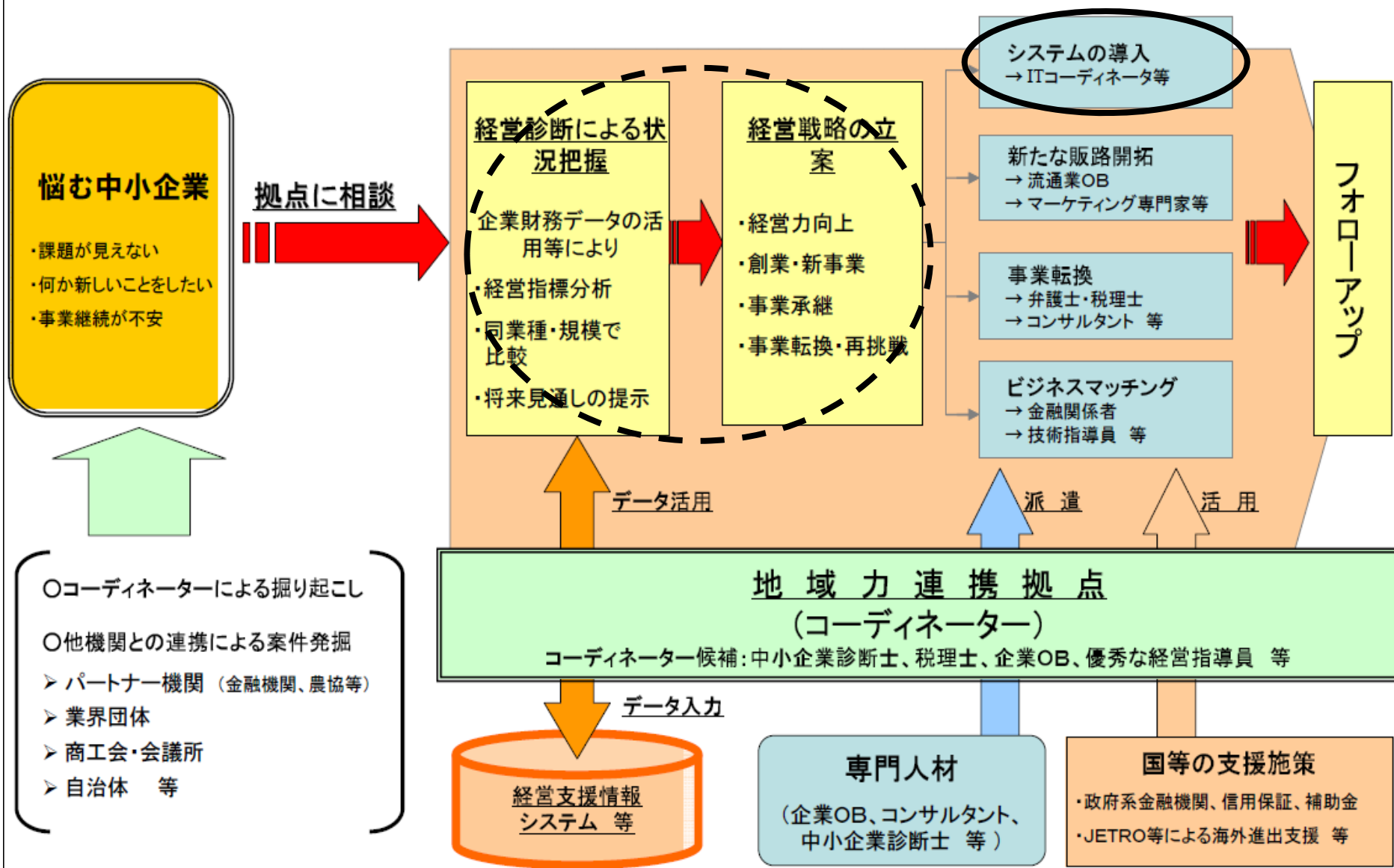


地域力連携拠点事業

- 5月20日 拠点の採択が公表
 - 中小企業庁のホームページに掲載
 - 全国で316拠点
 - 商工会議所119、商工会78、中央会37 etc.
- 5月30日 全国一斉に拠点での事業スタート
- 支援者をコーディネーターとして配置
 - 全国で約800名
 - 中小企業に密着し、徹底支援

地域力連携拠点の支援の流れ



拠点支援イメージ①(ITを活用した経営管理)

小規模企業等

売上の安定を目指し、代替わりした社長が修行時代の経験に基づいた新たなコンセプトの店舗展開を思案。

拠点の応援コーディネーターに開店に必要な資金についての調達をどうしたらよいか相談。コーディネーターは、まずは先代時代から続けている経営方法の見直しが必要と判断し、中小企業診断士を派遣。

中小企業診断士が、商品別の収益構造を分析。計画的な経営のための財務会計整備と管理会計の導入を提案。

商品別の収益把握(管理会計)については、ITコーディネーターの助けも得て原価管理システムを作成。
記帳については、商工会の「経営支援システム」を導入し、自計化を実施。

売れ筋商品と経営状況が把握可能となり、社内の目標共有化と業務の重点化が図られた。

応援コーディネーター、中小企業診断士及び経営指導員が新たなコンセプトの店舗展開のためのビジネスプラン作りを支援。
ビジネスプランを基にマル経の設備資金を調達。

現在、経営指導員が「経営支援システム」から出力された月次決算書等に基づく経営支援を実施し、フォローを行っている。

相談

派遣

データ活用

経営支援

派遣

経営支援

応援コーディネーター

高度専門人材
(中小企業診断士、
ITコーディネーター 等)

データ入力

経営支援情報システム

高度専門人材(中小企業診断士)

融資

マル経融資

商工会 (経営指導員)

ITコーディネータのみなさんへ

1. 採択拠点を確認しアプローチを開始
ITコーディネータからの働きかけが第一
⇒5月30日の事業スタート以降に
2. 各拠点での専門家登録の働きかけ
3. 応援コーディネータとのコンタクトを強化
4. 各拠点では「経営革新」のテーマが重要
アピールのキーワードは経営革新
(他資格との差別化としてITもアピール)